



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿ノ台へようこそ

令和 8年 3月 2日
第 22 号

感謝の気持ちを伝える ありがとう集会

3学期最後の参観にご参加いただき、ありがとうございました。インフルエンザ等の感染症の影響を心配していましたが、参観や集会、体験入学、出前授業などの行事を無事に実施でき、ほっとしているところです。

2月18日(水)には、ありがとう集会(6年生を送る会)を行いました。

この集会は、縦割り班(のびのび班)でお世話になった6年生へ、感謝の気持ちを伝える場です。1学期の「1年生を迎える会」が「こんにちは集会」であることから、「こんにちは」で始まり「ありがとう」で締めくくるといふ、本校ならではの温かい流れがあります。この名付け方はとてもすてきだと感じています。

今年度は、体育館に全校で集まる形ではなく、のびのび班ごとに日頃活動している教室に分散し、班ごとに「手作りすごろく」を楽しみました。集会の最後には、5年生がリーダーとなって班のみんなで作ったメッセージカードを6年生に贈りました。カードのプレゼンターは1年生で、微笑ましい姿があらわに見られました。ありがとう集会のあとは、6年生によるミニコンサートが開かれ、音楽参観で披露した曲を聴かせてくれました。心温まる、とてもすてきなひとときとなりました。

「1月はいく、2月はにげる、3月はさる」と言われるように、3学期は特に月日の流れが速く感じられます。



ミニコンサート

修了式までの登校日数は15日を切り、卒業式までは10日あまりとなりました。残り少なくなった日々を大切にしながら、一日一日をていねいに過ごせるよう、子どもたちに声をかけていきたいです。

情報モラル 出前授業

2月9日(月)に6年生を対象に情報モラルの出前授業(協力:KDDI)を行いました。

スマートフォンやインターネットを安全に利用するために、「自分で考えること」の大切さについて、3つのリアルで身近なトラブル事例をもとに学びました。

1つめの事例：メッセージのやり取りによる誤解

SNSやメッセージアプリなど、文字だけのコミュニケーションでは、言葉の受け取り方の違いから大きなトラブルに発展することがあります。

紹介された事例では、「どんな手段で来るのか」を訊ねたつもり「なんで来るの?」というメッセー



ジが、「なぜ、あなたが来るのか」と否定的に受け取られ、トラブルにつながったケースでした。

文字だけでは相手の表情や声のトーン、細かなニュアンスが伝わりにくくなります。そのため、悪気のない言葉でも誤解を招いてしまうことがあります。もしメッセージの文面を見て不快に感じて、すぐには反応せず、一度スマホを置いて落ち着く時間を作ること、怒りに任せて悪口やうそを書き込まないことが大切です。子どもたちからは、

「たった一つの打ちミスで相手の人を傷つけてしまうのだから、相手に誤解されないよう工夫して送りたい」「相手を傷つけないように文を見直したい」「もし嫌なふうに感じて、すぐには怒らず、返事を返そうと思った」など、相手の気持ちを考えて表現を選ぶとともに、感情に任せて反応しないことの重要性について触れた感想が多く寄せられました。

2つめ、3つめの事例：インターネットトラブル

続いて、インターネットやスマホ依存症の問題やオンラインゲームなどを通じて知り合った「ネット上の友だち」を、安易に信用しすぎることの危険性について、実際に起きた事例をもとに考えました。

見えない相手だからこそ、家族とルールを決めたり、自分自身で使用方法を見直したりすることの大切さを学びました。

子どもたちは、「自分の使い方を見直したい」、「ルールをあまり決めていないのでルールを考えて作って守りたい」「家にルールがあつてよかった」と、家族でルールについて話し合つて決めることの大切さを感じたようでした。



不審者対応避難訓練

2月12日(木)、不審者対応の避難訓練を実施しました。この訓練は2学期に実施した防犯訓練(職員研修)で、生駒警察署生活安全課の方からいただいた助言をもとに、計画したものです。

今回は、来校者が不審者へと変わった想定で校内放送を流し、各学級では児童の身の安全を確保する動き、教員がさすまたを持って、不審者を児童に寄せ付けないようにする動きを確認しました。これまで、児童に過度な恐怖心を与えることを避けるため実施してこなかった「**不審者の居場所を笛で知らせる**」という行為についても、行いました。第一の放送後も、常に場所を移動し続ける不審者役の教員の居場所を、笛の音を手掛かりに、複数の教員がさすまたを持って迅速に集まることができ、連携の大切さを再確認することができました。

不審者は、初めから不審な様子で学校へ入ってくるとは限らず、突然豹変する場合があります。そのため、「どこからが不審者と判断するのか」という見極めが非常に重要です。この点については、前回の防犯訓練でも警察の方からご助言をいただいたところです。また、「**学校・警察連携制度**」により、日頃から生駒警察署と情報を共有したり、学校へ巡回・訪問を受けたりするなど協力と連携をしています。今後も、いざという時に迅速に対応できるよう備えを怠らず取り組んでいきたいと考えています。